

第 1 5 2 回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名							
経営形態	法人・個人	資本金		万円	電話		—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成・令和)			年	従業者数		人 (うち非正規人) ※2
※1 業 種	製造業： A 西陣 ・ B 染色 ・ C 印刷 ・ D 窯業 ・ E 化学 ・ F 金属 ・ G 機械 ・ H その他の製造						
	非製造業： I 卸売 ・ J 小売 ・ K 情報通信 ・ L 飲食店、宿泊 ・ M サービス ・ N 建設						
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。						
主な製品、商品、サービス							
御記入者	部課：		役職：		氏名：		

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項 目	期 間			令和6年7～9月の実績 (前年の同期と比較して)			令和6年10～12月の予想 (令和6年7～9月期と比較して)			
	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
貴 社 の 業 況	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
生産加工量・販売量	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	
経常利益(税引前)	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	
製品・加工単価、販売単価	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
仕 入 単 価	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
製品・商品在庫量	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足	
雇 用 人 員	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足	
資 金 繰 り	楽	普 通	苦	楽	普 通	苦	楽	普 通	苦	
同業他社との競争	激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和	
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受 注 残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い	す る	し な い					

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和6年7～9月の実績)	
(令和6年10～12月の予想)	

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- | | | |
|--------------------|----------------|--------------|
| 1. 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2. 生産・経営の合理化 | 3. 人材確保・育成 |
| 4. 新規産業分野への進出 | 5. 自社ブランドの育成 | 6. 新商品の開発・販売 |
| 7. 研究開発体制の強化 | 8. 情報収集・分析力の強化 | 9. その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- | | | | | |
|-----------------|----------|-----------|----------|------------|
| 1. 競争激化 | 2. 売上不振 | 3. 人材育成 | 4. 値下要請 | 5. 仕入値上要請 |
| 6. 原材料(特に)価格上昇 | 7. 金利上昇 | 8. 販売価格安 | 9. 技術力不足 | |
| 10. 後継者問題 | 11. 人手不足 | 12. 人件費増加 | 13. 為替動向 | 14. その他() |

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございます。裏面の付帯調査についてもよろしく願います。

当調査票は、同封の返信用封筒もしくは FAX にて、業務委託先((株)東京商工リサーチ京都支店 [FAX:211-4788])へ御返送をお願いします。

なお、調査内容に関するお問い合わせは、通知文に記載の問合せ先までお電話をお願いします。

【付帯調査】融資の利用状況等について

貴社の融資の利用状況等についてお尋ねします。

(注) 以下、設問中の用語説明である。

保証付き融資：信用保証協会の保証を付ける融資。別途、信用保証料の支払が必要。

制度融資：行政が中小企業向けに融資条件を設定した融資。信用保証協会の保証を付ける必要あり。

A. 現在、どのような融資を利用していますか。該当するものに○印を付けてください（複数回答可）。

1. 金融機関のプロパー融資（保証人有り）	2. 金融機関のプロパー融資（保証人無し）
3. 京都府・市の制度融資	4. 京都府・市の制度融資以外の保証付き融資
5. 日本政策金融公庫など公的金融機関の融資	6. その他の融資や資金調達（具体例：_____）
7. 融資は利用していない。	

以下、B～Dについては、質問Aで融資を利用している（選択肢の1～6）と回答された方にお尋ねします。

B. 主な取引先金融機関（メインバンク）はどのようなところですか。該当するものに○印を付けてください（1つのみ回答）。

1. 地方銀行、第二地方銀行（市内に本店がある）	2. 地方銀行、第二地方銀行（市内に本店が無い）
3. 信用金庫、信用組合（市内に本店がある）	4. 信用金庫、信用組合（市内に本店が無い）
5. 都市銀行、信託銀行	6. 日本政策金融公庫など公的金融機関
7. メインバンクと言えないところはない	8. その他（具体例：_____）

C. 最近、国のマイナス金利政策が見直されましたが、金融機関の融資にどのような影響が出ていますか。該当するものに○印をつけてください（複数回答可）。

1. 金利が上がった	2. 金利が下がった	3. 融資期間が長くなった
4. 融資期間が短くなった	5. その他条件に影響が出ている（具体例：_____）	
6. 制度融資を利用しているため影響はない		7. 制度融資を利用していないが影響はない

D. 【保証付き融資を利用していない方（質問Aの3及び4を選ばなかった方）のみお答えください】
保証付き融資（質問Aの3及び4）を利用しない理由は何ですか。該当するものに○印を付けてください（複数回答可）。

1. 保証付き融資を知らない	2. 対象要件に合わない	3. 金利の負担が大きい
4. 保証料の負担が大きい	5. 他の融資の方が融資条件が良い	6. 金融機関から勧められない
7. 特に明確な理由はない	8. その他（具体例：_____）	

以下、E～Hについては、再度すべての方にお尋ねします。

E. 京都府・市新型コロナウイルス感染症対応資金（京都府・市の制度融資であるゼロゼロ融資。令和2年5月から令和3年5月まで実施）は利用しましたか。該当するものに○印をつけてください（1つのみ回答）。

1. 利用した	2. 利用しなかった	3. わからない
---------	------------	----------

F. 伴走支援型経営改善おうえん資金（京都府・市の制度融資で、ゼロゼロ融資からの借換等で利用できた。令和3年4月から令和6年6月まで実施）は利用しましたか。該当するものに○印をつけてください（1つのみ回答）。

1. 利用した	2. 利用しなかった	3. わからない
---------	------------	----------

G. 京都府・市の制度融資に何を求めますか。該当するものに○印をつけてください（最も求めるものを1つのみ回答）。

1. 金利の低さ	2. 融資期間の長さ	3. 経営者保証の解除
4. 融資限度額の引き上げ	5. 保証料の引き下げ	6. 利用要件（売上減少要件や事業計画策定など）の緩和
7. 柔軟な借換対応	8. 必要書類の簡素化	9. その他（具体例：_____）

H. 今後は、どのような目的で融資の利用を検討されていますか。該当するものに○印をつけてください（複数回答可）。

1. 新規事業・新店舗・新商品への投資	2. 機械購入等の設備投資	3. 運転資金
4. 賃上げ等従業員の処遇改善	5. デジタル化・DXの取組	6. 脱炭素化の取組
7. 事業承継	8. M&A	9. 既存融資の借換資金（もしくは借入金の返済）
10. その他（具体例：_____）		
11. 融資利用を予定していない		